

23rd 全国曹洞宗青年会

# sousei

186  
2019.8

**特集① 第23期が船出!**

今を創ろう 明日を咲かそう

**特集② カンヌ映画祭現地報告**

祝! 映画『**典座**-TENZO-』が  
カンヌ映画祭出品!



# 新会長 原 知昭 インタビュー

特集① 第23期が船出！

今を創ろう 明日を咲かそう

はら ちしょう  
原 知昭

昭和53年4月23日生まれ (41歳)  
平成13年大本山總持寺安居

今期のスローガン『今を創ろう 明日を咲かそう』に凝縮された新会長の所信を聞くため、島根県安来市の宗見寺を訪ねました。

慎重で丁寧な語り口の奥底から、原会長の熱い想いを知ることができた時間でした。

この度は全国曹洞宗青年会（以下全曹青）第23期会長に就任された原知昭師にお話を伺います。まず全曹青の参加歴についてですが、何期から参加されたのでしょうか。

原知昭師（以下原師）／第18期ですので、10年前になります。地元の「いずも曹洞宗青年会（島根県）」の先輩に「参加してみないか」と声をかけていただいたのがきっかけでした。

10年にわたる全曹青参加の経験の中で、最も印象に残っていることは何でしょうか。

原師／やはり総合企画委員長のとくに経験した全曹青40周年事業と、事務局長の際に取り組んだ精進料理フェスタでしょうか。特に40周年事業として、大本山總持寺で「全国徒弟研修会」や「国際子ども禅のつどい」を開催したときは記憶に残っています。その中で総合企画委員会ではワークショップを企画しました。そのときに植

樹した「能登峨山キリシマツジ」が大本山總持寺で育っているのを見るのは、とても感慨深いですね。また同じく大本山總持寺で峨山禪師650回忌大遠忌に併せて行われた精進料理フェスタの際は、全曹青の他に各管区にもお願いして精進料理ブースを出してもらいました。大変にご好評をいただき、嬉しかったです。

### 『大衆教化の接点を求めて』とは

そういった経験をされて、この度第23期会長に就任されました。所信表明でも言及されている、全曹青の活動理念である『大衆教化の接点を求めて』を会長はどう捉えられているか、改めてお聞かせください。



聞き手 広報委員長 田ノ口太悟

原師／『大衆教化の接点を求めて』という理念は発足当時の方々が考えられたのですが、当時は『緑蔭禅の集い』を念頭に置かれていたと思います。発足から40年を過ぎ、50年が近い。当時とは「大衆」や「接点」の捉え方も当然変わってきています。私たち僧侶の教化の機会といえば、お葬式や法事が多いと思いますが、その際にお釈迦様の教えを説いて喜ばれるとは限らない。なぜなら、あくまでお葬式や法事は故人を偲ぶのが目的であり、そうなると話せるお釈迦様の教説は限定されてしまいます。それ以外の機会がどうしても必要なだけけれども、お寺に来てもらい、お寺で話すという形が難しくなっているのが現実です。

### スローガン『今を創ろう 明日を咲かそう』にこめたい想い

第23期のスローガン『今を創ろう 明日を咲かそう』についてご説明をお願いします。

原師／10年間全曹青に関わってきてつくづく思うのは、将来的に何か大きな行事を成し遂げるためにも、目の前のことを少しずつ積み重ねていくことが重要なのだ、ということでした。「今を創ろう」という言葉には目の前のことに向き合い、少しずつ積み重ねていこう、という想いがこもっています。そして「明日を咲かそう」には、お釈迦様や道元禪師・瑩山禪師の教えが、こつこつと培われた全曹青の事業を通して人々の心に芽吹く、というイメージを投影しています。このような想いを持って任期2年間で務めさせていただきます。



宗見寺外観

## 過疎問題への取り組み

第23期の事業として、「過疎問題への取り組み」を挙げられています。その理由をお聞かせください。

原師／私の地元の島根県のことです。申しますと、まず島根県自体、人口が急激に減少している県の1つです。檀信徒が減少し、後継者もなかなか見つからない、という状況が生じています。

檀信徒の減少の問題は深刻です。檀信徒が減少すると、場合によっては伽藍維持ができなくなってしまう。何しろ檀信徒が減っても伽藍維持のための費用は動かさないわけですから。

過疎問題への対策というのは、とても難しい問題です。他宗派では兼務住職を認めず、人口の増えている都市部で積極的に寺院を増やす、という方策を取っているところもあります。

原師／曹洞宗としての対応もこれから本格的に始まっていくと思います。鬼生田宗務総長が立ち上げられた「過疎地域等における宗門寺院の問題に関する対策準備室」も先日、島根県第一宗務所に視察にいられたそうです。

寺院の統廃合という選択は今後検討されることがあるかもしれませんが、私は一番に考えなければならないのは檀信徒の方

お寺への想いだと思っています。島根県内では1人の僧侶がお寺をいくつも兼務していることが多いのですが、兼務先寺院の普段のお寺の掃除や草刈り、施食供養等の準備は檀信徒の方が積極的にされている寺院が多いです。すると当然、「わががこの寺」という意識が強くなりますので、寺を

他と合併して失くすという話には絶対に反対されるでしょう。寺院は地域の皆様の想いが詰まった場所なのです。寺院の運営上もうやっつけていけないからお寺を合併するということと、信仰の拠り所としてのお寺をどうするのか、というのは全く次元の違う問題です。

寺院の合併にはメリットとデメリットがあるでしょうから、それをよく考える必要があると思います。

全曹青としては、どのようなことができるでしょうか。

原師／私は檀信徒が支える寺院というより、地域が支える寺院という観点から考えたいと思っています。私が住職を務める地域は、全60戸のうち宗見寺の檀信徒は40軒ほどで、他の20軒は違う宗派や神道の信者だったりします。しかし、過疎の影響はこの60戸全体に及んでいるのです。過疎問題は決して住職を務める寺院の檀信徒のみに関わる問題ではありません。ありきたりの言葉ではありますが、地域の活性化のために寺院と青年僧侶に何ができるか。それ

を考えたと思っています。

現状としては、家の跡継ぎがいる場合でも、都市部に住んでいることが多い。この辺だと松江市に家を建てるとかですね。宗見寺のある安来市から松江市は車で1時間足らず、それに電車も通っていて、故郷には立派な家もあるのに、松江市に家を建ててしまう。理由としては庭の手入れが嫌だとか、田舎の人付き合いが苦手だとかいうことです。昔は当然のように出来ていたことができなくなっている。もちろん若い人たちがいわゆる都会に出たい感覚は理解できます。そういう状況に対して昔から存在するお寺がハブとなり、50代、60代になり第一線を退いた方々が「田舎に戻ろうかな」と思ってもらえるような過疎対策を練っていききたいです。

具体的な過疎問題への対応策はまとめておられますか。

原師／まだこれからですが、現時点で考えていることがあります。今年の11月18日に松江市で禅文化学林（15P参照）が開催されます。そのタイミングで過疎地域に関するフィールドワークのようなものを行いました。知識として「知る」と、体験を通して「理解する」のでは大きく違います。それから、定期総会時に併修されている中央研修会でも何らかの事業を行いたいと思います。2年間の任期中に解決する事柄ではないですから、それぞれの青年僧

侶が過疎問題を自坊に持って帰り、それぞれの地域で力になれるようなプログラムを2年通じてやっていきたいです。

最後に今後2年間の抱負をお願いします。

原師／過疎問題への対策をまとめること、複数の委員会が協働して行事を企画するよう促すことです。また、それぞれの全曹青参加者が経験したことを地元を持ち帰り、いかに還元するかが重要だと思っています。そのことを念頭に参加者には活動してもらいたいです。

地元の御寺院様や加盟曹青会の方々には、全曹青参加者を温かく見守っていただいておりますこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

聞き手・文／広報委員長 田ノ口太悟

撮影／広報副委員長 菅 悠生

広報委員 石原 顕成

島根県は過疎が進む地域が多く、自身の体験から第23期の事業として過疎対策に取り組むことにした。



宗見寺遠景。写真中央の森に隠れた屋根が宗見寺



# 第23期で取り組む 「過疎問題」とは



## 【過疎とは】

地域の人口が減少することで、その地域で暮らす人々の生活水準や生産機能の維持が困難になってしまふこと。

## 【はじめに】

貧困、少子高齢化、年金…。

現代社会を取り巻く多くの社会問題。今期、全曹青が取り上げる「過疎問題」もまた、その象徴的なものです。

各種メディアでは過疎問題に関わる様々な報道がなされています。おそらく多くの青年僧侶が危機感を持ち、漠然とした不安を胸に抱えているのではないのでしょうか。しかし、その危機感こそが目の前の問題に取り組む原動力ともなります。その原動力を確かなものとするためには、現状を正しく見極めていくことが大切です。曹洞宗内にとまらず、他宗教団、社会情勢へと幅広い視野を持つことがその第一歩になると感じます。

## 【過疎問題とは】

近年、急速に表面化しつつある過疎問題ですが、いざ「過疎問題とは何か？」と、具体的な説明を求められると答えに詰まることも少なくありません。一般的に少子化・高齢化・都市部への人口流出や人口そのものの減少などがあげられますが、それらは単体で問題にすることが出来ず、それぞれが密接に関係し合い、自治体の維持困難や社会保障、労働力不足による経済問題にまで発展しているのが現実です。この問題の多様な側面が理解を難しくしています。極端な表現になりますが、日本で起きうる社会問題のほぼ全てを包括していると言っても過言

ではないでしょう。

しかし、それでは雲をつかむような話になってしまいますので、ここでは「自治体の維持困難」を例に考えてみましょう。「自治体戦略2040構想研究会」の報告書には、2040年頃までの自治体行政の課題が示されています。これらの課題により、仮に自治体の維持が困難になった場合、古来より地域とともに存続し続けてきた寺院の性格を考慮すれば、寺院の消滅が現実味を増すことは想像に難くありません。

## 【困るのはだれか】

では、寺院が消滅すると困るのは一体誰なのでしょう。か。

曹洞宗と呼ばれる宗教教団でしょうか。

寺院で活動する僧侶や寺族でしょうか。

寺院とともに歩んできた檀信徒でしょうか。

その答えは「全て」と言ってもよいでしょう。

曹洞宗という宗教教団は、布教伝道のための「地盤」を失います。

寺院で活動してきた僧侶や寺族は、代々受け継が

れてきた「想い」を失います。

寺院とともに歩んできた檀信徒は、菩提寺という

「心の拠り所」を失います。

寺院の消滅は、その寺院に関わる「全ての人々」に少なからず影響を与えることは間違いありません。小さな種が長い年月をかけて大木へと成長するかのように、地域とともに歩んできた寺院という存在は、私たちが思っている以上に人々の心に深く根差し、安寧を齎す重要な存在として立派な成長を遂げています。その枯れゆく様を、消滅していく様を、私たちは見過ごすことが出来るのでしょうか。



島根県 大慶寺  
現在の伽藍は祠（秋葉三尺坊大権現をお祀りしている）を残すのみであるが、  
住職、信徒、自治会により維持され、法要も行われている。  
本尊、歴住牌は近隣寺院に移され大切に守られている。

### 【自主性を求められる現在の過疎対策】

日本における過疎対策は、昭和45年の「過疎地域対策緊急措置法」に始まり、現行法の「過疎地域自立促進特別措置法」へと法整備が進められています。ここで注目していただきたいのは現行法の「自立促進」という名称です。文字通り自主的に行動し、自立することを促しています。

日本には地域によって多種多様な営みがあります。農村部には農村部の、雪国には雪国の、都市部には都市部の・・・。

あげればきりがありませんが、それらは同時にどの地域にも通用する画一的な過疎対策を創造させることの難しさを意味しています。これは寺院にも同じことが言えるのではないのでしょうか。それぞれの地域、寺院に合わせた過疎対策。地域性が強い問題だけに、そういった背景を考慮すると「自立促進」という「自主性」を求められる方向性も頷けます。

### 【私たちができること】

自主性が求められているとは言え、すぐさま行動に移し、成果へと結びつけることは容易ではありません。しかし、全国に目を向ければ、過疎問題による寺院への影響に危機感を抱き、すでに行動に移されている僧侶も多くいらっしゃるでしょう。そういった方々の取り組みを皆で共有することも、私たちに出来る過疎対策のひとつと言えます。加えて共有された情報をもとに一人一人が我が事として手掛かりを導き出す過程が、自主性を育む大きな一助となるのではないかと思います。

ところが、過疎問題は一人で対応できる範疇を大きく超えています。そこから見えてくることはともに歩むことの大切さではないでしょうか。一人では

何ともし難いからこそ、互いに助け合う。お釈迦様の初転法輪より紡がれてきた、「サンガ」という縁に想いを寄せ、年齢や立場、僧俗を超え、ともに過疎問題に取り組んでいくことも大切なことであると感じます。

### 【最後に】

社会はこの一瞬一瞬にも変化を続けています。歩調を合わせるかのように過疎問題の性質も刻一刻と変化していくでしょう。ゆえに過疎による問題が生じ続けている以上、過疎問題に想いを巡らし続けることも大切なのではないのでしょうか。

今期の全曹青は次のようなスローガンを掲げています。

「今を創ろう 明日を咲かせよう」

今を創るために、今を知り、明日に安寧という名の花を咲かせられるよう、「S O U S E I」の連載を努めていきたいと思えます。

文／過疎問題担当庶務 堀江紀宏

中野孝海

### 参考資料

#### 総務省

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain0.htm](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/2001/kaso/kasomain0.htm)



#### 過疎地域自立促進連盟

<http://www.kaso-net.or.jp/>



#### SOTOZEN-NET（過疎問題を考える）

<https://www.sotozen-net.or.jp/>

SOTOZEN-NET

過疎

検索

特集②

祝!

# 『典座』

-TENZO-

## カンヌ映画祭出品!!



この度、全曹青で製作した映画『典座』(以下『典座』)がカンヌ国際映画祭批評家週間「特別招待部門」(以下カンヌ映画祭)に出品されるという快挙を成し遂げました。同映画の主演でもあり、また企画の段階から中心となつて事業を進めてきた河口智賢映画事業実行委員長(前副会長)に映画への想いと、カンヌ映画祭での観客の反応等を聞きました。

今回出品することになったカンヌ映画祭ですが、言わずと知れたベルリン・ベネチアと並ぶ世界3大映画祭の1つであり、世界中の映画人が集まる映画祭として高い注目を集めています。同時に行われるフィルムマーケットでは、映画作品のバイヤーが世界中から集まることでも知られ、この映画祭で高い評価を受けた作品は世界的な評価を獲得することになります。今回『典座』が出品されたのは批評家週間という上映週間の「特別招待部門」です。もちろん応募すればどんな作品でも出品できるわけではなく、数千に及ぶ作品の中から各部門のディレクターに選ばなければカンヌ映画祭には出品できません。極めて狭き門になります。

カンヌ映画祭出品の知らせが、俄かに信じられなかった

「『カンヌ映画祭出品が内定したかもしれない』。正式に決定する数日前に富田監督

にそう聞かされたのですが、俄かには信じられませんでした」 河口委員長はそう回想します。「もちろん第22期の最初からカンヌ出品を目指して取り組んできたのですが、実際に現実となると実感が湧きません。何しろ何千人規模で人が集まる最高峰の映画祭ですからね」

現地での反応はどうだったのでしょうか。「信じられないほど多くの方が興味を持ってくれました。そのことにびっくりしました。フランス・カンヌに着いてすぐ、映画祭のレッドカーペットの前で『典座』の宣伝としてパンフレット配りしたら、私たちの袈裟姿を見て興味を持ち、引きも切らずに多くの方が声をかけ、パンフレットを受け取ってくれました。また、映画関係者が作るブースに行つて『典座』の説明をすると、『その話をもっと聞きたい。まあそこに座つて』と言われ、熱心に聞いてくださいました。通訳してくれた人が言うには、『普段はこんなに聞いてくれない。あなたが僧侶で、映画の内容が仏教に関わることだからみんな興味を持っているのですよ』、と」

つくるわずに悩み苦しんでいる姿が、感動を与えたのでは

映画『典座』の中の、つくるわずに悩み苦しんでいる僧侶たちの姿が感動を与えたのではと河口委員長は推測します。「批評家週間のディレクターは『典座』を招待し



た理由を、『単純さと深さに魅了された』と述べられました。まさしく禅だな、と。また、観客の反応では、お坊さんたちが悩み苦しんでいる姿に共感した、という感想をいただきました。けれど、『典座』の内容はタイトルから連想されるような、『食』と『典座』について真正面から描いたものではありません。青年僧侶の悩みや葛藤の場面、それと青山俊董老師（愛知専門尼僧堂堂長）への独参によって成り立っています。映画の中では僧侶が酒を飲み、タバコを吸う場面もあります。いわば現代の日本の僧侶の現実をありのままに見せた。それでも『単純さと深さ』『感動した』という感想が出てきたのは、『信仰とは何か』お釈迦様の教えとは何か』を悩む僧侶の姿から、むしろその姿を通して『信仰』と『仏法』を観る側が感じてくれたのではないのでしょうか」

### 青山俊董老師の教えに圧倒された

そのような映画に仕上がったのは、『典座』撮影過程に理由があるといいます。「最初は、『食の循環』、『命の循環』をテーマにした映像を15分でまとめようと考えていました。まあ、典座に関する『いかにも』な内容ですね。ですが、ある重要な取材先から断られてしまい、予定していた撮影ができなくなりました。自信をなくしました。私たちのやろうとしていることはお釈迦様の御教えからしたら次元の低いこと

なのかな、と。富田監督と話して映画内容を根本的に見直しました。その時に言われたのが、『あなたたちが本当に教えを乞いたい人は誰ですか』ということでした。それは青山俊董老師であると即座に思い浮かび、独参させていただくことにしました。早くお引き受けいただき、老師は私に2時間半もかけて様々なことを教えてくださいました。青山老師の深い教えに圧倒されてしまい、あの時のことは今となっては夢のようです。とにかくものすごい経験でした。

青山老師が強くおっしゃっていたのは、次のことです。まず、言伝仏法（ことば）になってはいけないということ。お釈迦様はこう言った、道元禪師がこう言ったという言伝では、仏法を伝えたことにはならない。『仏法を学んで、お釈迦様がおっしゃった言葉が自分の内を通してどのようなものになったか。そして自分の生き様はどのように変化したのか』。それが重要だと」

### 難しい理屈ではなく、本質を伝えなくてはいいけない

「また、精進ということに溺れちゃダメだよとおっしゃいました。例えば、肉類を食べないことが精進につながる、というのは驕りであると。例えば、モンゴルでは農作物が豊かに実りません。だから地元の遊牧民は羊等の肉を大事に、肉の一片まで粗末にしないようにいただきます。思いを込



現代に生きる人々は、資本主義の中で外観のみを立派にしているという価値観を持っています。しかし、それではどうしても心の部分が乏しくなってしまうもの。現代社会には心のつながりや、拠り所が足りないのです。

「信仰があれば、危ういところで人が救われる手がかりになるのではないのでしょうか。毎日手を合わせ、ちよつとでも祈る。日常的に祈るということを繰り返すことが、人間性を豊かにするように思います。そのために、ただ大上段に祈りなさいという映画にするのではなく、私たち僧侶もひとりの人間であり、お釈迦様の教えとは、信仰とはということをお悩みながら行じている。その姿を通じて、『信仰とは何か』を考えるきっかけをこの『典座』で伝えられたのではないかと思います」

映画の中で、青山老師は「求められているのだから、あとはどれだけ僧侶が答えるかだ」とおっしゃっています。僧侶自身にとってもそれを考えさせられる映画として、今後皆様にもご覧いただきたいと思えます。

映画の一般公開は秋を予定しており、同じく秋にはフランス全土での公開も決定しています。詳細は裏表紙をご覧ください。

聞き手／広報副委員長 菅 悠生

他広報委員一同

文／広報委員長 田ノ口太悟

この映画が、「信仰とは何か」を考えるきっかけになってほしい



朝から全員改良衣を着て映画祭の会場へ。各国の映画ブースをまわって一日中宣伝活動に明け暮れました。僧衣姿が珍しいのか好意的に話を聞いてくださる方がとても多く、これには空族フランスチームも驚いていました。夜は富田監督、河口映画事業実行委員長、倉島顧問がフランスの全国紙『リベラシオン』の取材を受け、1ページ全部を使った大きな記事で掲載されました！



とてもセンスの良い写真を載せていただいた「リベラシオン」

# 第72回カンヌ国際映画祭参加報告

全曹青が一丸となって取り組んできた、空族・富田克也監督の最新作『典座―TENZO―』（2019年10月4日「アップリンク渋谷・アップリンク吉祥寺」より順次公開予定）が、5月14日から25日まで開催されたカンヌ国際映画祭の批評家週間「特別招待部門」へ正式出品され、20・21日カンヌ市内劇場で富田監督と主演の河口智賢師、倉島隆行師の3人による舞台挨拶と公式上映が無事終了しました。その日程に合わせ全曹青からは7人が現地に入り、取材対応と宣伝に努めてきました。その模様をお伝えします。



午後から市内の劇場エスパス・ミラマーで舞台挨拶ありの公式上映。約300名の映画関係者が集まり会場は一杯に。終了後は「私の大切な映画になつた」「青山俊董老師の言葉に共感した」という嬉しい感想をいただきました。会場を出たその足でジャパンパビリオン（日本映画を支援する目的で文化庁が展覧する展示館）に移動し、フランス在住の料理家深澤悦子さんにご協力いただき精進料理パーティーを開き、映画に関心を持って集まった各国の関係者をもてなしました。



舞台挨拶はフランス語と英語に通訳されていました



料理家の深澤悦子さんの素敵な精進料理でおもてなし

5月21

朝から海岸沿いのカフェで富田監督、河口映画事業実行委員長、倉島顧問の3人が各国メディアからの取材応対。映画に込めた熱い想いを語りました。19時からは劇場シアター・アレクサンドロⅢでの上映があり約200名の方においでいただきました。終了後は観客の皆様と交流。教育の一環として生徒を連れて観に来たという先生とお話しし、禅の思想に触れること自体に教育的な意義を見出されているのを感じました。



公式上映後の取材応対



海外版ポスター



公式上映は満席



エスパス・ミラマーでの公式上映



ジャパンパビリオンでの精進料理パーティー

参加者  
空族の皆さんと河口智賢師（第23期映画事業実行委員長・主演）・倉島隆行師（同顧問・主演）・山田俊哉師（同副会長）・織田秀道師（同副会長）の4名は18日から、村山博雅師（全曹青顧問・世界仏教徒青年連盟会長）・吉川貴寛師（第22期全日仏青特別委員会）・中川光真師（同）が宣伝活動を行いました。

### 海外メディアの反応

・今年カンヌで見た中で最も長い映画ではないが、確実に、最も印象的な作品の一つだ。

・完全に没入してしまう、純粋で自然な最高の映画づくりである。カンヌで上映されるべきであり、絶対に見るべき作品だ。

・素晴らしい手腕を見せた富田は、友人やプロの俳優ではない人々を起用することで知られており、本作でも同じスタイルをとっている。

・主演の2人、河口智賢と倉島隆行はとてつもなく印象的である。富田と相澤虎之助による脚本は、いいテンポで素晴らしい。フレーム毎に美しく、スタジオ石（古屋卓磨、向山正洋）による息をのむ映像の祝宴は、物語が進む間ずっと観るものを魅了する。【転載元：The Hollywood News】  
「素晴らしい」「ワンダフルフィルム」「狂気に満ちたカンヌで禅のように穏やかな島」「心に響いた」  
【Curzon Cinemas（英国のPodcast）カンヌレポートから】

### 日本メディアの記事抜粋

「批評家週間」を含め、カンヌ映画祭での各部門で上映作品に選ばれるというのは狭き門です。初めて製作した映画が、いきなりカンヌに招待されたというのは「すごい」としか言いようがありません。「心の救済」を追求する物語は海を越えて響くものがあつたのでしょ。

【毎日新聞のニュース・情報サイトから】

5月22

カンヌを発つ。お疲れ様でした！

今年の秋からのフランス全国160館での公開が決定しており、さらにはフランス国内の他の映画祭での上映が決まるなど、カンヌ上映の大きな効果が表れています。現地での高評価と今後の展開の広がり期待を膨らませつつ、興奮冷めやらぬまま帰路に着きました。

文／副会長 織田秀道



レッドカーペットにて



令和元年5月14日13時より、曹洞宗檀信徒会館3階「桜の間」を会場に中央研修会が開かれ、岩手県藤源寺住職・佐藤良規師を講師にお招きし、第22期全曹青顧問を務めた飯島恵道師と共に「誰一人取り残さない〜未来の僧侶像を問う〜」と題し、講話をいただきました。

国連の定めた「持続可能な開発目標」であるSDGsの内、5番目の目標である「ジェン

ダーの平等目標」を念頭に置き、現代に必要なとされる僧侶やお寺の役割に言及されました。

女性僧侶である飯島師には近代以降の女性僧侶の置かれてきた状況についてご説明いただきました。法を嗣ぐことはできても、自分の法を他の僧侶に嗣がせることはできなかったこと、そして女性僧侶として初めての曹洞宗宗議会議員になられた小島賢道師の活動を通して、女性僧侶の権利獲得の

歴史をご教示いただきました。

また佐藤師からは、海外において寺院は、宗教施設としてだけでなく地域コミュニティとして求められる存在として定着していること、実際にその空気に触れると感じる「お寺の安心感」「温かさ」は、男性だけではなく女性とともにサンガを形成することで生まれることをご教示いただきました。

講師お二人とも、男女の違いを意識することなく一人の僧侶としての活動こそが必要であるとお話されました。お二人の話から、寺院や僧侶が性差を越えた活動をする意義を再確認しました。

文／広報副委員長 菅 悠生



## 「誰一人取り残さない」 未来の僧侶像を問う〜

○飯島恵道師 プロフィール  
長野県東昌寺住職  
NPO法人アルウィズ「デイホーム楓」理事・看護師  
教諭師  
任意市民団体「ケア集団ハートビート」代表。

前職看護師（諏訪中央病院、内科・訪問看護・緩和ケア病棟に勤務）  
病院・地域での看護師としての活動を、自坊での活動に活かす道筋を見極めるため、信州大学大学院経済・社会政策科学研究科地域社会イニシアティブコース（修士課程）にて学び、「死別悲嘆者へのケアの考察〜第三人称親密圏からの寄り添い〜」を執筆。

○佐藤良規師 プロフィール  
岩手県藤源寺住職  
千年藝術の森プロジェクト発起人  
NPO法人浜わらす理事長  
フットボールクラブ「ヴィヴァーレ」関「GM

遠洋漁業を含む20種以上の職種を経験、海外30カ国を放浪の後、生まれ育った岩手県一関市にて住職となる。寺をハブとしたコミュニティづくりや、地域作りプロジェクトを多面的に展開しながら、ホスピスボランティア等、心のケアに関する取り組みに励む。

東日本大震災時に津波に遭遇、トラックの屋根の上で九死に一生を得る。以来その体験と気づきを共有する講演と対話を国内外で重ね、里山・里海づくり、遊び、学び、子育てなど多くの取り組みを通して活動している。



## 23期スローガン 『今を創ろう 明日を咲かそう』

令和元年5月14日・15日の2日間にわたり、曹洞宗檀信徒会館3階「桜の間」を会場に、令和元年度定期評議員会・定期総会が開かれました。

第22期の最後の活動報告と2年間の総括、また第23期の活動計画案と予算案が審議され、承認されました。また第23期執行部が承認されました。

翌日15日9時より定期総会が開催され、前日と同じ内容が審議され承認されました。これにより、第23期が正式に始動しました。原新会長より所信表明が行われ、全曹青一丸となり会務を全うする意志が確認されました。



## 第23期委員会総会

令和元年6月18日、曹洞宗檀信徒会館3階「蘭の間」で、第23期委員会総会が行われました。

はじめに原知昭会長の挨拶があり、その中で今期の抱負、過疎化に対する問題提起、青年僧侶への激励の言葉などが述べられました。

次に各副会長の挨拶が行われ、それぞれの所見が述べられました。その後、原会長より各委員へ委嘱状の授与が行われました。

そして、各委員会並びに特別委員会による今期の活動目標が発表され、その後、委員会ごとに委員長を中心に担当副会長を交え様々な意見交換が行われました。

また委員会総会終了後には、カンヌ映画祭出品作品である映画『典座―TENZO―』の上映研修会が行われ、河口智賢映画事業実行委員長より、この作品が出来上がり出品に至るまでの経緯、ならびに今後の展望についての説明、カンヌ映画祭への参加、フランスでの反応など報告がありました。

今期は『今を創ろう 明日を咲かそう』のスローガンのもと、原会長を中心に全曹青が様々な人々の期待に応えられるよう、よりよい明日に向かって歩み始めました。

文／広報委員 秋元憲裕

## 『アースデイ東京2019』に参加

平成31年4月20・21日の2日間、渋谷区代々木公園で開催された『アースデイ東京2019』において曹洞宗が「禅の実践プログラム―Earth禅堂2019・トークセッション『禅と食―禅の思想から食の問題を考える』」を開催し、全曹青から6名が参加しました。

『Earth禅堂』は食作法・坐禅・写経体験を開催し、『Earth食堂』では修行道場の朝食さながらのお粥が提供されました。誕生仏に甘茶をかけるコーナーも多くの方に花まつりを知っていただく機会となりました。

トークセッションは全曹青から河口智賢師が参加し映画『典座―TENZO―』と『食』にちなんだトークを展開しました。曹洞宗

は坐禅と食事が一体となった修行であること、道元禪師が中国で食の大切さを学んだこと、映画に収められている青山俊董老師のご訓示などの内容に多くの方が足を止め、話に聞き入っていました。

「食べる」という根本的な消費行動に目を向け、「自分に与えられるべき適正な量を意識する」という禅の精神が、このイベントが掲げるSDGs(持続可能な発展目標)の理念に直結していることを感じただけの内容であったと感じました。

全曹青HP『般若』で記事の全文を掲載しています。

ぜひご覧ください。

文／副会長 織田秀道



# 全日仏青 NEWS



JYBA  
ALL JAPAN  
YOUNG BUDDHIST  
ASSOCIATION

## 仏法興隆花まつり千僧法要



晴天に恵まれた平成31年4月26日奈良県東大寺大仏殿で、仏法興隆と世界平和を願う『仏法興隆花まつり千僧法要』が開催されました。この法要は全日本仏教青年会(以下、全日仏青)が主催し昭和63年から毎年開催され、今年で31回目を迎えました。全国各地より各宗派の青年僧侶が参集し、一般参加者と共に、宗派の垣根を超えて、共に祈りを捧げました。それぞれの法衣にて、多くの国内外の観

光客や修学旅行生が僧侶の行列に驚くなか、大仏殿に向かいました。

世界遺産でもある東大寺盧舎那大仏の前にて全日仏青理事長でもある倉島第22期会長が導師を務め、厳粛な法要が執り行われました。金峰山青年僧の会による「法螺吹奏」、天台仏教青年連盟による「声明」、全国曹洞宗青年会による「大般若経転読」、全真言宗青年連盟による「声明」、全国浄土宗青年会による「念仏」、全国日蓮宗青年

会による「木剣」などの、各宗派の伝統的な法要を随所に織り交ぜ、日本最大の超宗派仏教団体である全日仏青だからこそその差定で進められるこの法要に海外からも関心が寄せられ、中国汕頭大学より6名の仏教を学ぶ学生が取材と体験の為に参加されました。

来年は1ヶ月遅い5月26日の開催となります。多くの皆様と共に苦悩する人々の心の救済と世界平和への祈りを捧げたいと思います。

文／広報委員 高柳龍哉

## 全日仏青定期理事会



令和元年6月19日、曹洞宗檀信徒会館3階「蘭の間」を会場に全日仏青定期理事会が開催されました。2年の任期で全日仏青

の理事長を務めた全曹青第22期会長倉島隆行師から天台仏教青年連盟顧問谷晃仁師へとバトンが渡され、第22期全日仏青の活動が始まりました。

文／広報委員 高柳龍哉



### 災害復興 支援部

NEWS LETTER

ニュース  
レター

この度、第23期全曹青にて災害復興支援部事務局長を務めさせていただき、長野県第一青年会より参加しております原田恵一と申します。災害発生の際により円滑な支援活動が出来るように、平素より関係諸団体との協働を重点に置き、被災地域の加盟青年会や全曹青災害メーリングリストに登録して下さっている全国の方々へ少しでも早く正確な情報をお伝えし、被災地域への支援活動を一元となつて行つて参る所存です。毎年災害が起きておりますが災害が起きない事を願うばかりです。



第49回九州曹洞宗青年会総会  
宮崎大会を開催

令和元年6月3日、宮崎市のホテルマリックスで、『第49回九州曹洞宗青年会総会宮崎大会』が開催されました。

12時30分より受付開始、午後1時より開講経が厳修されました。

午後1時30分からは定期総会が行われ、総会の冒頭では来賓の宮崎県宗務所所長の法泉寺住職・甲斐史郎老師がご挨拶に立たれました。引き続き、今回の定期総会で九州曹洞宗青年会会長を退任する角田仁哉師から青年会各員に向けて最後の挨拶があ



記念講演講師  
NPO法人横濱ラグビーアカデミー理事長・春口廣氏

り、新会長に就任する安川大器師のご挨拶へと滞りなく進みました。安川師は、『九州はひとつ〜乳水和尚〜』の新スローガンの説明をし、抱負を語られました。午後2時30分からは大会記念講演が行われました。NPO法人横濱ラグビーアカデミー理事長をお務めの春口廣氏を講師に迎え、『ラグビーとは仲間づくりだ!』と題した講演がありました。

その後の役員・理事会では全曹青会長の原知昭師から挨拶がありました。

午後6時からは懇親会が開催されました。懇親会では「九州曹洞宗青年会ボランティア義援金」の寄付を募り、総計57,830円のご寄付をいただきました。

今大会は九州各県より多数の参加をいただき、法の絆を深め合う機会となりました。次期開催は佐賀県となります。

文／広報委員長 田ノ口太悟



令和元年度禅文化学林・  
第42回中国曹洞宗青年会いずも大会開催告知

今年の中国曹洞宗青年会大会はいずも曹洞宗青年会が担当となります。大会タイトルを『食縁』と名付けました。

岩手県正法寺山主・盛田正孝老師は「人間だけが食べ方を問われている」とよく仰います。私たちが生きる上で必要不可欠な「食」でありながら、平然とおろそかにしている私たちもいるのです。禅の教えには、「物を粗末にしないで生かす」とあります。

今大会では、一般の方々と共にこの教えに学び、今一度「食」を通じた様々なつながりを考えたいと思います。また今大会は令和元年度禅文化学林も併催致します。全国の青年僧侶の皆様のご参加をお待ち申し上げております。詳細なご案内は同封のチラシまたは全曹青HP『般若』をご覧ください。



盛況だった精進料理教室



精進料理教室開催報告

11月の大会に先立ち、パネルディスカッションの3名を講師にした精進料理教室を6月と7月に計3回開催しました。どの会場も大好評でした。開催の様子は全曹青フェイスブックをご覧ください。

文／中国曹洞宗青年会いずも大会

実行委員長 西古孝志

日時…令和元年11月18日(月)  
12時受付 12時30分開講式  
会場…ホテル一畑(鳥根県松江市千鳥町30)  
大会主任講師…盛田正孝老師  
(岩手県正法寺山主)  
パネルディスカッション…  
吉村昇洋師(広島県普門寺副住職)  
折橋大貴師(神奈川県常泉寺副住職)  
藤井小牧氏(東京都こまきしよくどうおかみ)

# 会 計 報 告

## 平成30年度 全国曹洞宗青年会 ボランティア基金 報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

歳入総額	8,210,761 円
歳出総額	5,083,483 円
差引残額	3,127,278 円

## 令和元年度 全国曹洞宗青年会 一般会計歳入歳出予算

平成31年4月1日～令和2年3月31日

歳入総額	31,520,000 円
歳出総額	31,520,000 円
差引残額	0 円

【歳入の部】 (単位:円)

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1	基本運営費		4,527,407	4,217,249	△ 310,158	
	1	会費	2,654,000	2,656,000	2,000	
		1. 同上	2,654,000	2,656,000	2,000	
	2	繰越金	1,873,407	1,561,249	△ 312,158	
		1. 前年度繰越金	1,873,407	1,561,249	△ 312,158	
2	事業費		27,302,593	27,302,751	158	
	1	雑費	6,000,000	6,000,000	0	
		1. 同上	6,000,000	6,000,000	0	
	2	助成金	15,300,000	15,300,000	0	
		1. 事業助成費	15,000,000	15,000,000	0	曹洞宗執行より
		2. 振替金	300,000	300,000	0	広報誌広告協賛金
	3	事業収入	6,000,000	6,000,000	0	
		1. 同上	6,000,000	6,000,000	0	旗布事業等
	4	雑収入	0	0	0	
		1. 委員会運営費繰入金	0	0	0	
	5	雑収入	2,593	2,751	158	
		1. 同上	2,593	2,751	158	雑金利息等
	合 計		31,830,000	31,520,000	△ 310,000	

【歳出の部】 (単位:円)

款	項	目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備 考
1	基本運営費		9,280,000	9,230,000	△ 50,000	
	1	会議費	750,000	750,000	0	
		1. 役員会	250,000	250,000	0	年5回 執行部会 理事会
		2. 総会	500,000	500,000	0	年2回 評議員会 総会
	2	執行交通費	7,650,000	7,600,000	△ 50,000	
		1. 役員会	3,800,000	3,800,000	0	年5回 執行部会 理事会
		2. 評議員	2,000,000	2,000,000	0	年2回 定例 臨時評議員会
		3. 渉外交渉費	1,850,000	1,800,000	△ 50,000	4階区大生 協議会 全日仏青等
	3	全日仏青関係費	250,000	250,000	0	
		1. 負担金	250,000	250,000	0	全日仏青加盟負担金
	4	事務費	500,000	500,000	0	
		1. 通信費	200,000	200,000	0	郵送料 課外手数料等
		2. 慶弔費	200,000	200,000	0	祝賀、開帳、送迎等
		3. 消耗品費	70,000	70,000	0	郵便封筒作成費等
		4. 備品費	30,000	30,000	0	
	5	雑費	30,000	30,000	0	
		1. 同上	30,000	30,000	0	
	6	予備費	100,000	100,000	0	
		1. 同上	100,000	100,000	0	
2	事業費		22,550,000	22,290,000	△ 260,000	
	1	委員会運営費	5,900,000	6,800,000	900,000	
		総合企画委員会	1,700,000	1,500,000	△ 200,000	企画運営 旗布事業等
		広報委員会	2,500,000	2,300,000	△ 200,000	広報活動等
		教化委員会	1,700,000	1,500,000	△ 200,000	教化事業 精神科保健等
		国際委員会	0	1,000,000	1,000,000	国際事業等
		旗布事業実行委員会	0	500,000	500,000	旗布「真庭-TENZO」関連事業
	2	事業費	6,520,000	6,560,000	40,000	
		1. 本部事業費	5,220,000	5,060,000	△ 160,000	旗布事業等
		2. 研修会関係費	300,000	200,000	△ 100,000	中央研修会等
		3. 国際活動事業費	0	300,000	300,000	
		4. 神文化学林関係費	1,000,000	1,000,000	0	
	3	広報費	8,800,000	7,700,000	△ 1,100,000	
		1. 編集費	2,400,000	1,400,000	△ 1,000,000	広報誌編集費
		2. 印刷費	2,200,000	2,100,000	△ 100,000	広報誌印刷
		3. 発送費	3,800,000	3,800,000	0	広報誌郵送料
		4. 封筒制作費	400,000	400,000	0	専用封筒 挨拶文作成費
	4	助成金	500,000	400,000	△ 100,000	
		1. 曹区大会助成金	500,000	400,000	△ 100,000	九州 東北 中国 東海
	5	積立金	700,000	700,000	0	
		1. 周年事業基金	100,000	100,000	0	
		2. 次期執行部準備金	100,000	100,000	0	
		3. その他	500,000	500,000	0	ボランティア基金へ
	6	雑費	30,000	30,000	0	
		1. 同上	30,000	30,000	0	
	7	予備費	100,000	100,000	0	
		1. 同上	100,000	100,000	0	
	合 計		31,830,000	31,520,000	△ 310,000	

※単、各項目間の活用も認めるものとする。

【基金】 ボランティア基金	3,127,278 円	全国曹洞宗青年会 会長 原 知昭
周年事業基金	1,900,000 円	会計 武田信光
次期執行部準備金	404,392 円	

<歳入の部> (単位:円)

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	5,143,379	平成29年度より
一般会計より	500,000	
本年度支援金	2,547,802	ボランティア基金として
雑収入	19,580	つるみ夢広場券金
合計	8,210,761	

<歳出の部> (単位:円)

項 目	金 額	備 考
活動費	1,460,723	交通費など
活動経費	3,622,760	
復興支援金	400,000	山形曹青、秋田曹青、静岡第一曹青、三重曹青、岐阜曹青、奈良曹青、岡山曹青、山口曹青
子ども自然ふれあい広場助成金	600,000	秋田曹青、四国曹青
東日本大震災慰霊行事	1,129,626	3月8日(全日仏青行事)、3月11日
ストックヤード設置助成金	1,000,000	10箇所
助成金	150,000	チャイルドライン・観世ふぉん
その他	343,134	
合計	5,083,483	

## 平成30年度 全国曹洞宗青年会 周年事業基金 報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

歳入総額	1,900,000 円
歳出総額	0 円
差引残額	1,900,000 円

<歳入の部> (単位:円)

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,800,000	
本年度積立金	100,000	
合 計	1,900,000	

<歳出の部> (単位:円)

項 目	金 額	備 考
事業費	0	
合 計	0	

### 法衣、オリジナルグッズ

### 洗える法衣みそのや

〒194-0022 東京都  
町田市森野5-21-4-302

TEL・FAX 042-851-8514



# 平成30年度

## 平成29、30年度 映画事業特別会計 決算報告

平成29年4月1日～平成31年3月31日

歳入総額	14,093,135 円
歳出総額	10,351,260 円
差引残額	3,741,875 円

## 平成30年度 全国曹洞宗青年会 一般会計歳入歳出決算 報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

歳入総額	30,452,116 円
歳出総額	28,890,867 円
差引残額	1,561,249 円

### <歳入の部> (単位：円)

項目	H30外 補正予算額	決算額	増減額	備考
映画協賛金	7,950,000	11,093,130	3,143,130	
本部事業費 H29	1,500,000	1,500,000	-	
本部事業費 H30	1,500,000	1,500,000	-	
雑収入	-	5	5	利子
合計	10,950,000	14,093,135	3,143,135	

### <歳出の部> (単位：円)

項目	H30外 補正予算額	決算額	増減額	備考
事業費	5,000,000	5,000,000	-	空族へ制作委託費
諸経費	5,950,000	5,351,260	△598,740	
交通費		2,401,204		全曹青出向者、撮影関係者交通・宿泊費
撮影経費		813,220		制作経費、撮影中食事代、協力御礼等
会場費		742,884		撮影会場献香料、御礼等
備品費		544,132		上映用機材費
返礼品費		422,003		返礼品作成費、送料
広報費		362,394		印刷物、特報DVD、SNS広告費等
事務通信費		65,423		
合計	10,950,000	10,351,260	△598,740	

### 【歳入の部】 (単位：円)

款	項	目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 基本運営費			4,527,407	4,492,407	△ 35,000	
	1. 会費		2,654,000	2,619,000	△ 35,000	
		1. 期上	2,654,000	2,619,000	△ 35,000	
	2. 雑収入		1,873,407	1,873,407	0	
		1. 前年度繰越金	1,873,407	1,873,407	0	
2. 事業費			27,302,593	25,959,709	△ 1,342,884	
	1. 賛助費		6,000,000	4,272,000	△ 1,728,000	
		1. 期上	6,000,000	4,272,000	△ 1,728,000	
	2. 助成金		15,300,000	15,180,000	△ 120,000	
		1. 事業助成費	15,000,000	15,000,000	0	曹洞宗執行より
		2. 協賛金	300,000	180,000	△ 120,000	広報誌広告協賛金
	3. 事業収入		6,000,000	5,064,234	△ 935,766	
		1. 期上	6,000,000	5,064,234	△ 935,766	換付事業等
	4. 雑収入		0	652,104	652,104	
		1. 委員会運営費積戻金	0	652,104	652,104	
	5. 雑収入		2,593	791,371	788,778	
		1. 期上	2,593	791,371	788,778	全日仏青協賛金補助、利息等
合計			31,830,000	30,452,116	△ 1,377,884	

### 【歳出の部】 (単位：円)

款	項	目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 基本運営費			9,280,000	7,646,578	△ 1,633,422	
	1. 会議費		750,000	438,888	△ 311,112	
		1. 役員会	250,000	81,084	△ 168,916	年5回 執行部会、理事会
		2. 総会	500,000	230,028	△ 269,972	年2回 評議員会、総会
	2. 執行交通費		7,650,000	6,803,450	△ 846,550	
		1. 役員会	3,800,000	2,961,000	△ 839,000	年5回 執行部会、理事会
		2. 評議員	2,000,000	2,112,000	112,000	年2回 定期、臨時評議員会
		3. 多外交通費	1,850,000	1,730,450	△ 119,550	5 曹区大会、協議会、全日仏青等
	3. 全日仏青関連費		250,000	250,000	0	
		1. 費用金	250,000	250,000	0	全日仏青加算費用金
	4. 事務費		500,000	259,595	△ 240,405	
		1. 通信費	200,000	120,500	△ 79,500	郵便料、搬入手数料等
		2. 雑費	200,000	115,000	△ 85,000	税関、送料、委託等
		3. 消耗品費	70,000	17,600	△ 52,400	郵便封筒作成費等
		4. 備品費	30,000	6,495	△ 23,505	
	5. 雑費		30,000	22,421	△ 7,579	
		1. 期上	30,000	22,421	△ 7,579	
	6. 予備費		100,000	0	△ 100,000	
		1. 期上	100,000	0	△ 100,000	
2. 事業費			22,550,000	21,244,289	△ 1,305,711	
	1. 委員会運営費		5,900,000	5,900,000	0	
		総合企画委員会	1,700,000	1,700,000	0	企画運営、換付事業等
		広報委員会	2,500,000	2,500,000	0	広報活動等
		教化委員会	1,700,000	1,700,000	0	教化事業、種差別啓発等
	2. 事業費		6,520,000	5,618,088	△ 901,912	
		1. 本部事業費	5,220,000	4,458,808	△ 761,192	換付事業等
		2. 研修会開催費	300,000	159,280	△ 140,720	中央研修会等
		3. 曹文化学林開催費	1,000,000	1,000,000	0	
	3. 広報費		8,800,000	8,503,780	△ 296,220	
		1. 編集費	2,400,000	2,342,000	△ 58,000	広報誌編集費
		2. 印刷費	2,200,000	2,331,504	131,504	広報誌印刷
		3. 発送費	3,800,000	3,491,588	△ 308,412	広報誌郵送料
		4. 封筒制作費	400,000	338,688	△ 61,312	専用封筒、挨拶文作成費
	4. 助成金		500,000	500,000	0	
		1. 曹区大会助成金	500,000	500,000	0	北海道・東海・九州・東北・中国
	5. 積立金		700,000	700,000	0	
		1. 周年事業基金	100,000	100,000	0	
		2. 次期執行部準備金	100,000	100,000	0	
		3. その他	500,000	500,000	0	ボランティア基金へ
	6. 雑費		30,000	22,421	△ 7,579	
		1. 期上	30,000	22,421	△ 7,579	
	7. 予備費		100,000	0	△ 100,000	
		1. 期上	100,000	0	△ 100,000	
合計			31,830,000	28,890,867	△ 2,939,133	

※尚、各項目別の活用を認めるものとする。

【基金】 ボランティア基金 3,127,278 円  
周年事業基金 1,900,000 円  
次期執行部準備金 404,392 円

全国曹洞宗青年会 会長 倉島隆行  
会計 河村達樹



一般社団法人日本人形協会々員  
全日本人形専門店会々員



東日本最大級の  
大形人形専門店。

## 伝統文化の 継承



人形の東月

- 人形の東月 いわき総本店 ☎0246(28)3675
- 人形の東月 郡山本店 ☎024(939)3160
- 人形の東月 福島御山本店 ☎024(534)0543

# 賛助費浄納御芳名簿

2019年4月1日～2019年6月26日取扱い分

## ◆東京都

17 龍澤寺 様  
51 泉岳寺 様  
105 鳳林寺 様  
106 観泉寺 様  
171 高岩寺 様  
227 羅漢寺 様  
309 天寧寺 様  
317 龍雲寺 様  
371 円明寺 様

## ◆神奈川県 1

350 宗久寺 様

## ◆神奈川県 2

10 随龍院 様  
14 傳心寺 様  
18 寶泉寺 様  
46 養周院 様

## ◆神奈川県

中野東禅 様

## ◆埼玉県 1

181 長光寺 様  
436 陽雲寺 様

## ◆埼玉県 2

227 東陽寺 様  
248 長泉寺 様  
331 曹源寺 様  
336 永福寺 様  
368 東昌寺 様

## ◆群馬県

99 龍傳寺 様  
160 大園寺 様  
272 海雲寺 様

## ◆栃木県

1 成高寺 様  
94 天性寺 様

## ◆茨城県

39 常安寺 様  
134 大統寺 様  
166 東光寺 様  
172 大聖院 様  
182 龍心寺 様

## ◆千葉県

7 満藏寺 様  
22 廣壽寺 様  
29 慶林寺 様  
93 芳泰寺 様  
194 中瀧寺 様

## ◆山梨県

280 円通院 様

## ◆静岡県 1

7 元長寺 様  
26 宝珠院 様  
50 盤龍寺 様  
95 久應院 様  
97 法幢寺 様  
156 十輪寺 様  
461 心岳寺 様  
464 正泉寺 様

## ◆静岡県 2

228 耕月寺 様  
267 修禅寺 様  
319 源光院 様  
362 福泉寺 様

## ◆静岡県 3

608 養勝寺 様  
676 孤雲寺 様  
989 観音寺 様  
1208 法雲寺 様  
1273 東林寺 様

## ◆静岡県 4

1017 龍泉寺 様  
1081 盛福寺 様

## ◆愛知県 1

7 全香寺 様  
101 成福寺 様  
108 香積院 様  
173 神藏寺 様  
229 寶泉寺 様  
261 薬師寺 様  
312 本曾寺 様  
313 長松寺 様  
342 常楽寺 様  
354 廣濟寺 様  
375 春江院 様  
605 天徳寺 様  
606 向陽寺 様  
607 林宗寺 様  
625 宝積寺 様  
633 岩藏寺 様  
635 永澤寺 様

## ◆愛知県 2

684 花井寺 様  
723 西漸寺 様

## ◆愛知県 3

396 龍雲院 様  
431 報恩寺 様

## ◆岐阜県

28 観音寺 様  
116 永泉寺 様  
122 大龍寺 様  
148 圓頂寺 様  
153 宗久寺 様  
162 清楽寺 様  
190 長久寺 様

## ◆三重県 1

35 弘善寺 様  
75 正興寺 様  
114 海禅寺 様  
246 寶泉院 様

## ◆京都府

20 地藏院 様  
34 神應寺 様  
67 苗秀寺 様

## ◆大阪府

5 臨南寺 様  
26 天徳寺 様  
38 慈願寺 様

## ◆和歌山県

10 窓譽寺 様

## ◆兵庫県 1

287 向榮寺 様  
315 長松寺 様

## ◆兵庫県 2

117 法門寺 様  
134 谷松寺 様  
173 瑞雲寺 様  
217 長福寺 様

## ◆岡山県

2 海徳寺 様  
130 蓮性寺 様  
131 済渡寺 様  
166 善福寺 様

## ◆広島県

13 延命寺 様  
46 双照院 様  
73 天寧寺 様  
86 西金寺 様  
95 泉龍寺 様  
143 常林寺 様  
177 功德寺 様  
179 神宮寺 様  
181 東明寺 様

## ◆山口県

102 保福寺 様  
236 飯倉寺 様

## ◆鳥取県

32 吉成寺 様  
159 大祥寺 様  
206 雲龍寺 様

## ◆島根県 1

209 圓通寺 様

## ◆島根県 2

63 龍覚寺 様  
70 完全寺 様  
78 全隆寺 様  
161 太林寺 様  
169 長安寺 様

## ◆香川県

3 南隆寺 様

## ◆愛媛県

18 陽春院 様  
146 興雲寺 様

## ◆大分県

8 豊音寺 様  
87 正福寺 様  
134 長安寺 様  
175 羅漢寺 様

## ◆長崎県 1

26 鏡圓寺 様

## ◆宮崎県

6 祐國寺 様  
34 水月寺 様

## ◆長野県 1

105 福泉寺 様  
322 守芳院 様  
587 観音庵 様

## ◆長野県 2

456 明音寺 様  
491 龍勝寺 様  
493 吉祥寺 様

## ◆福井県

254 圓明寺 様

## ◆富山県

54 大淵寺 様

## ◆新潟県 1

321 種月寺 様  
346 繁慶寺 様  
368 正通寺 様  
384 庄川寺 様  
393 曹源寺 様  
397 善昌寺 様  
487 宝泉寺 様  
496 長樂寺 様

## ◆新潟県 4

6 大榮寺 様  
9 東陽寺 様  
38 興泉寺 様  
196 香傳寺 様  
814 地藏院 様

## ◆福島県

43 東禅寺 様  
90 明光寺 様  
101 成林寺 様  
110 龍徳寺 様  
135 茂林院 様  
185 長興寺 様  
226 常隆寺 様  
373 泰雲寺 様  
405 勝方寺 様  
446 天宗寺 様

## ◆宮城県

76 清涼寺 様  
102 吉祥寺 様  
149 喜松院 様  
151 大雄寺 様  
203 洞雲寺 様  
212 祥雲寺 様  
214 実相寺 様  
282 耕徳院 様  
293 梅溪寺 様  
296 龍洞院 様  
344 龍澤寺 様  
408 洪龍寺 様

## ◆岩手県

17 清水寺 様  
23 清雲院 様  
54 龍岩寺 様  
158 願成寺 様  
196 建高寺 様  
288 長福寺 様  
290 長泉寺 様

## ◆青森県

11 京徳寺 様  
66 大慈寺 様  
74 浮木寺 様  
98 東光寺 様  
100 澄月寺 様  
105 東昌寺 様  
112 法蓮寺 様  
119 大安寺 様  
183 大乘寺 様  
189 乗照寺 様

## ◆山形県 2

315 永泉寺 様

## ◆山形県 3

466 禅龍寺 様  
708 光浄寺 様  
722 永蓮寺 様

## ◆秋田県

18 乗福寺 様  
87 慶祥寺 様  
157 香積寺 様  
252 長泉寺 様  
279 宝昌寺 様  
321 鏡得寺 様  
323 恩徳寺 様  
353 安養寺 様

## ◆北海道 1

7 宝琳寺 様  
69 大林寺 様  
96 観音寺 様  
488 清泉寺 様

## ◆北海道 2

131 法光寺 様  
181 永祥寺 様  
248 總泉寺 様  
346 永光寺 様  
419 龍門寺 様

## ◆北海道 3

224 禅龍寺 様

## ボランティア基金感謝録

東京都 曹洞宗宗務庁 様  
広島県 福善寺 様

東京都 浄土宗 西谷山 大養寺 様  
東京都 三瓶 祐毅 様  
東京都 北村 和久 様  
東京都 濱田 雄士 様  
長野県 松本CINEMAセレクト 様

山梨県 宮下 真紀 様  
静岡県第4 清心寺 様  
大阪府 南詢寺 様  
大阪府 森下 勉 様  
岩手県 源福寺 様

全国曹洞宗青年会の活動は皆さまの賛助費に支えられております。  
この度もご協力いただき誠に有難うございました。

# 管区理事からのごあいさつ

全曹青 Real Voice



## 北海道管区理事 二ノ宮賢隆

この度、北海道管区理事を務めさせていただきます。北海道第二宗務所青年会の二ノ宮賢隆と申します。全曹青という高邁な志が集まる方々と一緒に活動できること大変光栄に思います。

『今を創ろう 明日を咲かそう』を目標に、原会長はじめ、過疎問題に取り組みられる力強い姿勢に、微力ではありますが理事として犬馬の勞を取る所存です。北海道も過疎は身近な問題であります。

全曹青の活動を北海道青年僧へしっかり伝え、かつ北海道の過疎問題や現状など、相互伝達できる活動をいたします。

2年間どうぞよろしくお願いたします。



## 東北管区理事 菅原芳徳

今期、東北管区理事の任を仰せつかり、2年間務めさせていただきます。秋田県曹洞宗青年会の菅原芳徳と申します。

『東北はひとつ』のスローガンのもと、東北の今を、そして個々の青年僧侶の活動を全国にお伝えし、また、全国各地の志を共にする僧侶の「いま」を東北青年僧侶とつなぐ「弁」の役割を果たしていけるよう、精進してまいりたいと存じます。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。合掌



## 関東管区理事 赤星隆誠

昨年より関東管区理事を務めさせていただいております。千葉県曹洞宗青年会の赤星隆誠と申します。

未だ不慣れな点多々ございますが、いただいたこのご法縁に感謝し、全曹青と関東管区各青年会との橋渡し役として、微力ながら精一杯この責務を果たしていく所存です。

どうぞよろしくお願いたします。



## 東海管区理事 加藤貴啓

昨年より、東海管区理事を務めさせていただいております愛知県第一曹洞宗青年会の加藤貴啓です。第23期が発足され、新たな事業が展開されていきます。第22期までの事業を継承しつつ、発展的な活動になるよう取り組んでまいります。

また、全曹青と東海管区加盟曹青のパイプ役となるよう、精一杯務めてまいりますので、よろしくお願いたします。



## 北信越管区理事 加藤隆章

今年度より北信越管区理事に就任いたしました。福井県曹洞宗青年会の加藤隆章と申します。

第23期のスローガン『今を創ろう 明日を咲かそう』のもと、原会長、執行部を陰ながら支え、全曹青と管区各曹青会との橋渡し役として精進していきます。

そして全国には私たちと同じ年代の青年僧が素晴らしい活躍をしていることを伝えていきたいと思いまので、2年間どうぞよろしくお願いたします。



## 近畿管区理事 松浦秀隆

昨年度より近畿管区理事を務めさせていただいております大阪曹洞宗青年会の松浦秀隆と申します。

第23期は『今を創ろう 明日を咲かそう』をスローガンとし、会務執行目標に過疎化問題への取り組みをあげて船出をいたしました。その目標に向け全国規模の連絡共同体であるスケールメリットを活かし、青年僧侶らしく柔軟な態度で、全曹青執行部と共に各事業を深めるため尽力させていただく所存です。

皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 中国管区理事 用元龍司

この度、中国管区理事を務めさせていただきます広島県曹洞宗青年会の用元龍司と申します。

中国管区において選出されました第23期原会長就任と時を同じくして中国管区理事を拝命いたしました勝縁を有り難く存じますとともに責任の重大さを感じております。

全曹青の活動の紹介や管区内各会員の皆様のご意見を全曹青にお伝えすることが、会員皆様方の布教教化活動の一助となりますように願って務めてまいります。2年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 四国管区理事 里野和敬

この度、四国管区理事を務めさせていただきます四国地区曹洞宗青年会の里野和敬です。

『今を創ろう 明日を咲かそう』という第23期スローガンにもありますように、未来へ良いもの遺すよう全曹青会員の皆様、全曹青執行部の皆様と共に考え歩みたいと思います。皆様どうぞよろしくお願いたします。



## 九州管区理事 安川大器

この度九州管区理事を務めさせていただく福岡県曹洞宗青年会の安川大器と申します。

去年、一昨年と、九州は大きな水害に見舞われた年でした。3年前の熊本地震と併せると、ここ数年はほぼ毎年災害に襲われている状況です。

その間に全国の方々からいただいたご恩を返せるよう、「九州はひとつ～乳水と合～」を合い言葉に、管内曹青各員の研鑽と懇親に努めてまいります。

# 全国曹洞宗青年会

## 第二十四期会長選考について(公募)

会長選考委員会に於いて、会則並びに細則に従って左記の事項が決定されました。  
全国曹洞宗青年会第二十四期会長に立候補する者は、左記の要綱に従い、立候補届けを完了して下さい。

全国曹洞宗青年会 第二十四期会長選考委員会 委員長 用元龍司

記

### ●全国曹洞宗青年会 第二十四期選考委員会 届出要綱

- 一、立候補届並びに履歴書の提出
- 二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出
- 三、推薦状 ①管区曹青会代表者 ②曹青会代表者
- 四、立候補に当たつての執行方針の提出
- 五、立候補届出先

「全国曹洞宗青年会 第二十四期選考委員会 委員長 用元龍司」宛  
〒721-2104

広島県尾道市瀬戸田町垂水八三〇 長光寺内  
電話 〇八四五―二七―二四六七

- 六、立候補届け出期限 令和二年一月三十一日(金) 必着
- 七、立候補届け出方法 必ず郵便書留にてお願い致します。
- 八、選考委員会構成員

選考委員長	用元龍司 (中国管区理事)	
選考副委員長	加藤隆章 (北信越管区理事)	
選考委員	原 知昭 (第二十三期会長)	二ノ宮賢隆 (北海道管区理事)
	菅原芳徳 (東北管区理事)	赤星隆誠 (関東管区理事)
	加藤貴啓 (東海管区理事)	松浦秀隆 (近畿管区理事)
	里野和敬 (四国管区理事)	安川大器 (九州管区理事)

※会則につきましては全曹青公式HP「般若」に掲載しております。 <http://www.sousei.gr.jp/>



全国曹洞宗青年会製作  
空族・富田克也監督最新作

10月4日(金)より  
アップリンク吉祥寺・渋谷にて  
**公開決定!**

映画『典座 -TENZO-』  
オフィシャルサイト



### あいちトリエンナーレ

(3年に1度開催される国内最大級の現代アートの祭典)

公開に先駆けて先行上映

9月17日(火) 会場:愛知芸術文化センター  
上映&トークイベント

登壇:青山俊董老師、河口智賢師、富田克也監督

### 広報委員会からの

# お知らせ

### 連載予告

次号から2つの連載が始まります。  
ご期待下さい!

### 1.「過疎」と向き合う

あまた有る社会問題の中から、今期の全曹青では「過疎問題」を取り上げます。現状を把握することを念頭に、対策の手掛かりとなる事例の紹介、会員同士の情報共有を通して、「過疎問題」と向き合える機会となればと思います。

担当/過疎問題担当庶務 堀江紀宏・中野孝海

### 2.『青年僧侶の映画レビュー』

今期は『今を創ろう 明日を咲かそう』というスローガンを掲げております。映画を通じて、仏教の魅力や現代社会問題について深く考えていきます。皆様の明日そして未来を咲かせる作品をご紹介します。 担当/広報委員 松崎清文



### 表紙の話

今期スローガンを意識し、諸先輩方の見据えた「明日」が、「今」となって私達の足元に咲いていることを表現しました。

撮影場所/岡山県笠岡市  
撮影者/広報副委員長 菅悠生